

市営保育所の今後のあり方に係る審議の視点について

- 審議の視点① 民間保育園と市営保育所の今後の役割
- 審議の視点② 市営保育所がその役割を担うために必要な機能
- 審議の視点③ 市営保育所の今後の役割と必要な機能に基づく配置のあり方
- 審議の視点④ 今後の役割・機能及び配置の実現へのプロセス

(主旨説明)

近年、核家族化の進行や共働き世帯の増加、就労形態の多様化に伴い、子どもの最善の利益と保護者支援の視点に立った、多様な保育サービスの提供が求められております。

また、保育所は、入所児童の保育や保護者への支援に取り組むことはもとより、家庭や地域における養育力の低下等といった問題に対し、地域における最も身近な子育てに関する専門機関として、すべての子どもと家庭を対象に、地域の子育て支援の拠点的な役割を果たすことがより一層期待されております。

さらに、保育サービスの根幹となる保育制度につきましては、国において、すべての子どもへの良質な成育環境を保障し、子どもを大切にする社会、仕事と家庭の両立支援で、充実した生活ができる社会などの実現を目指すとして検討されており、大きな転換期にあります。

本市におきましては、厳しい財政状況の下で、保育を取り巻く情勢が激動する中、こうした利用者ニーズや保育所に求められる役割に応え、公・民全体で本市の保育を向上させていく必要があります。

このため、『民間保育園と市営保育所の今後の役割』や、『市営保育所がその役割を担うために必要な機能』について検証を行い、『市営保育所の今後の役割と必要な機能に基づく配置のあり方』と、『今後の役割・機能及び配置の実現へのプロセス』を明らかにすることを目的に、市営保育所の今後のあり方について、御審議を依頼するものです。